

令和6年度第1回大船渡市水道事業運営審議会 会議録

- 1 日 時 令和6年7月25日（木） 9:55～11:20
- 2 場 所 大船渡市役所 議員控室
- 3 出席者
（委 員） 佐々木晋会長、金野弘美委員、加納慎也委員、佐藤優子委員、
菅原和子委員、古内裕子委員、佐藤充子委員、佐藤政子委員
（事務局） 佐藤部長、後藤課長、新沼技監、舩砥補佐、舘下補佐、佐藤光春係長、
佐藤類係長、奥山係長、鈴木主事
- 4 欠席者 北條一子副会長、志田千秋委員
- 5 会議経過 以下のとおり

1 開会

【舩砥補佐】

おはようございます。本日はご多用のところ委員の皆様におかれましては、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。それでは、定刻より少し早いですが、皆様お揃いになりましたので、令和6年度第1回大船渡市水道事業運営審議会を開催いたします。

審議に入ります前に、委員の交代がありましたので、上下水道部長の佐藤より紹介させていただきます。

【佐藤部長】

おはようございます。それでは私から、令和6年5月1日付けで大船渡市水道事業運営審議会委員に委嘱させていただいた方をご紹介します。

太平洋セメント株式会社大船渡工場業務部長であります、加納慎也委員でございます。

昨年度まで太平洋セメント大船渡工場様より選出いただいております佐藤清治委員の人事異動に伴いまして、加納委員に交代となっており、今回の審議会からご参加をいただいております。加納委員どうぞよろしくお願いいたします。

【加納委員】

はい。皆様おはようございます。太平洋セメントの加納と申します。前任の佐藤に代わりまして、千葉県の方から赴任して参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

【佐藤部長】

以上で、新任委員の紹介を終わります。

【舩砥補佐】

本日は、北條副会長、志田千秋委員の2名が欠席となっておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、水道事業運営審議会の事務局であります上下水道部水道課の職員を、佐藤部長より紹介させていただきます。

【佐藤部長】

それでは、大船渡市上下水道部水道課事務局職員を紹介させていただきます。
課長の後藤浩靖でございます。

【後藤課長】

後藤です。よろしくお願いいたします。
技監の新沼一彦でございます。

【新沼技監】

新沼です。よろしくお願いいたします。
庶務・業務担当の課長補佐、舩砥元でございます。

【舩砥補佐】

舩砥です。よろしくお願いいたします。
工務給水・施設保安担当の課長補佐、舘下睦章でございます。

【舘下補佐】

舘下です。よろしくお願いいたします。
工務給水係長の佐藤光春でございます。

【佐藤光春係長】

佐藤です。よろしくお願いいたします。
業務係長の佐藤類でございます。

【佐藤類係長】

佐藤です。よろしくお願いいたします。
庶務係長の奥山智行でございます。

【奥山係長】

奥山です。よろしくお願いいたします。
庶務係主事の鈴木祐美でございます。

【鈴木主事】

鈴木です。よろしくお願いいたします。
改めまして、上下水道部長の佐藤悦夫でございます。よろしくお願いいたします。

なお、本年度から、水道事業と簡易水道事業が統合されたことに伴いまして、組織としても、水道事業所と簡易水道事業所を統合し、市内全域の水道事業を所管する上下水道部水道課としてスタートしております。私は、水道課のほかに下水道事業を所管する上下水道部下水道課も担当しております。どうぞよろしくお願いいたします。

2 会長あいさつ

【舩砥補佐】

それでは、次第の「2 会長あいさつ」に移りまして、佐々木会長からごあいさつを頂戴したいと思います。佐々木会長よろしくお願いいたします。

【佐々木会長】

皆様おはようございます。皆様にはお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。それでは、審議に先立ちまして一言ごあいさつを申し上げます。

さて、最近の社会経済情勢ですけれども、円安ですとかエネルギー価格の上昇による物価高騰が続いており、市民生活や市内経済に影響を与えております。そんな中ですが、大船渡市、あとは委託を受けまして商工会議所のほうで第3弾のプレミアム商品券を発行しておりますし、また今週からは、省エネ家電、同じくその支援事業、補助事業として大船渡地域商品券をお使いいただくなど、市役所を中心に市民生活の物価高騰等の影響を緩和する事業を行っております。そして来週末には、三陸大船渡夏まつりを開催し、経済を循環させよう、活性化させるための事業を行っておりますので、今後皆様にも、引き続きご協力をよろしくお願いします。

そして、大船渡市の水道事業を取り巻く状況ですが、4月に先ほどもありました市内全体の水道事業を安定的で継続可能な事業とするため、「旧大船渡市の水道事業」と「旧三陸町の簡易水道事業」が統合されております。統合後の経営方針を定めた「水道事業経営戦略」が、昨年12月にこの審議会にその概要が示されまして、2月の全員協議会を経まして、3月に策定をされております。

この経営戦略では、給水人口の急速な減少に伴いまして給水収益が不足となることから、令和8年度には14%の値上げ改定が必要となるなど、厳しい経営状況を示されております。

本日の審議会ですが、令和5年度水道事業決算についての審議、また、簡易水道事業の決算状況を理解していただく内容となっております。委員の皆様から、ご不明な点をはじめ、ご質問、水道事業の運営に関して積極的にご意見等をいただき、実りある会にしたいと考えておりますので、ご協力のほうよろしくお願いいたします。

それでは、本日の審議よろしくお願いいたします。

【船砥補佐】

会長ありがとうございました。

それでは、ここから大船渡市水道事業運営審議会規則第4条に基づきまして、会長が会議の議長となりますので、佐々木会長に進めていただくことになります。

それでは、引き続き佐々木会長よろしくお願いいたします。

3 審議

【佐々木会長】

それでは次第のほうに入ります。「3 審議」でございます。「(1) 令和5年度大船渡市水道事業決算について」、事務局より説明をお願いいたします。

【後藤課長】

それでは、お手元の資料No.1をご覧くださいと思います。

始めに、私から令和5年度水道事業の決算概要の要旨について説明させていただきます。それ以降につきましては、各担当から説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。

―― 資料No.1 「大船渡市水道事業の概要」 1～2 ページを説明 ―――

以下、各担当のほうからもう少し詳しく説明させていただきますので、よろしくお願いします。

【佐藤類係長】

それでは引き続き、3 ページ「2 業務に関する事項」以降について説明いたします。

―― 資料No.1 「大船渡市水道事業の概要」 3～4 ページを説明 ―――

以上です。

【奥山係長】

続きまして、私より「3 給水原価等に関する事項」から「9 大船渡市水道事業会計の年度別推移」までを説明させていただきます。

―― 資料No.1 「大船渡市水道事業の概要」 5～18 ページを説明 ―――

私からの説明は以上となります。

【館下補佐】

続きまして、19 ページ「10 令和5年度 建設工事の概要」について説明させていただきます。25 ページの「令和5年度 水道事業執行箇所位置図」と共にご覧ください。

―― 資料No.1 「大船渡市水道事業の概要」 19、25 ページを説明 ―――

私からは以上となります。

【奥山係長】

続きまして、資料の20 ページ、21 ページをお開き願います。こちらは、「経営及び財務分析表」になります。主な項目を説明させていただきます。

―― 資料No.1 「大船渡市水道事業の概要」 20～22 ページを説明 ―――

以上であります。

【船砥補佐】

駆け足で長くなりましたけども、以上が、令和5年度大船渡市水道事業会計決算の概要となります。事務局からの説明とさせていただきますので、ご審議のほうをよろしくお願いいたします。

【佐々木会長】

ありがとうございました。事務局さんのほうから説明をいただきましたが、会計の難しさと用語の難しさと色々ありますけども、質問、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか

【加納委員】

はい。よろしいですか。

【佐々木会長】

お願いします。

【加納委員】

はい。ご説明ありがとうございました。結局当年度の経営は、ざっくりというと料金回収率で言いますと100.12%ということでしたので、辛うじてではあるけれども健全な体質は保っているというような解釈でよろしいんでしょうかね。100.12%というのがちょっと余裕がある数字なのか、余裕がない数字なのかというところがちょっとよくわからない。プラスになっているということは理解できたんですけども、ここの数字というのはどう捉えるとよろしいでしょうか。

【佐々木会長】

はい。ありがとうございます。それでは、お願いいたします。

【船砥補佐】

はい。ご指摘のとおり、辛うじて黒字化にはなっているんですけども、公営企業は基本的に大きな儲けというのは出さないような団体になっています。ただし、将来の不安ですとか、いわゆる災害に対応するために一定程度の黒字っていうのは確保することが許されています。正直に言いますと、その有形固定資産の3%程度とかそういったものを準備金として確保することが許されているんですけども、そういったものの確保には中々至っておりませんので、経営としてはぎりぎりの状況ではあります。ただし、黒字はなんとか確保しているというような状態でございます。

【加納委員】

ありがとうございます。

もう一つ質問があるんですけども、もちろん営利目的ではないということなので、この黒字の幅を大きくしないといけないというつもりはありませんけれども、一方で取水人口というんですか、利用者のほうは減っていく傾向にあるというようにお見受けするんですけども、この場では事実の審議だけすればなのかもしれませんけれども、この先の見通しとしてやっぱり取水人口が減ってくると料金収入が減ってくる。そうするとこの100.12%っていうのも100という数字を切ってくるという懸念があるのではないかなというところがあるんですけども、そこについての少し5年、10年というような長期的な目

で見た時のプランというか、先ほど冒頭では、やっぱり令和8年になったら値上げせざるを得ないよみたいなことを言及されていましたが、やっぱり方策としては値上げというような方法しか効果的な方法というのはないのでしょうか。そこら辺のところの不勉強なものですから教えていただければと思います。

【佐々木会長】

はい。ありがとうございます。そうですね。加納委員のほうからありましたが、結局対予算ではないので、対決算額の比較なんですね。対予算ですと、収支が本来は5千トンくらいというところもあったと思うんです。実際それも含めて6年度からの10年計画というような内容だったと思うんですけど、先の見通しという部分で、決算はこの通りなんでしょうけども、そこら辺を含めてと思っていました。お願いいたします。

【後藤課長】

はい。おっしゃる通り、料金収入だけで、あと給水人口もどんどん減っていくのが予想されるので、料金は当然値上げしないといけないということで先ほど申し上げましたが、去年、経営戦略というのを新たに策定したんですけれども、申し上げたとおり8年度に1回14%上げて、経営戦略ではその後16年度にまた上げて、更にその5年後にまた上げてというような経営戦略にはなっています。料金収入の値上げだけでいいのかというご質問でございますけども、そうではなくて、簡易水道と統合しましたので、実は簡易水道の方は毎年赤字でして、簡易水道の施設も一緒になりましたので、あとは施設をどう効率よく変えていくか、統合したりですね。それにもお金はかかりますけども。あとは必要以上の大きい管が入っているところは、小さめに、要は維持管理費がかからないように、ダウンサウジングといいますけども、そういうことも今後計画として考えていく必要があるというのは水道課としてもずっと議論しているところでございます。

【加納委員】

ありがとうございます。

【佐々木会長】

よろしいでしょうか。

【加納委員】

はい。大丈夫です。

【佐々木会長】

ありがとうございます。

今工事中だからというのものもあるかと思うんですけど、立根、日頃市。その有収率が75%くらいということで、その管が増えていることによって今後の動きというか、決算ではないんですけど、どんな感じなんでしょうか。

【後藤課長】

立根、日頃市に関しては、町中とは状況が違いまして。町中は、大船渡市では人口が多いんですけども、立根、日頃市に行きますと、ご存知の通り家が点々として、いっぱい水を引いてほしいんですけども、結局工事を何千万、何億とかけたのに、結局何軒も水を引いてくれない、要は料金収入が本音を言えば見込めないような地域になっています。今年も課内で議論したんですけども、じゃあそれなのに何千万もお金をかけて工事するのかという話になりまして、住民懇談会というのを開いたりしまして、水道事業というのは税金じゃなくて料金で成り立っているんですっていう説明から始まって、こちらとしては、例えば半分以上はすぐ水道を引いてくださいというような説明をしました。そうしたら理解していただきまして、まだ回答はもらっていないんですけども、やっぱり老人一人で暮らしているのに給水管を引くのに、そんな何十万もかけて水を引かなくていいという意見もあるし、今更山の水を引いて使っているのにそんなのいらないっていう本音をくださった方もいらっしゃいました。なので、今後もそういうのをこの水道事業を理解していただいた上で、そういう工事とかを、まあ今年で大体終わるんですけども、そういうことをやる必要があるのかなというふうに考えています。引けばいいっていうものではないよというのをちゃんと考えて進めていかなければいけないなというふうに感じてます。以上です。

【佐々木会長】

ありがとうございます。

ちなみに去年も出たと思うんですが、未収とか支払いの状況とかって改善の方はどうなっているのでしょうかというか、状況を教えていただければなと思いますが。

【佐藤類係長】

はい。料金の収納状況につきましては4年度実績が現年度・過年度含めまして95.97%、令和5年度実績が過年・現年度含めまして96.44%で改善している状況にあります。水道につきましては、電気・電話等と一緒に私契約になりますので、支払いが滞っている方々に給水の催告の中で給水停止処分について通達をして、去年一昨年から定期的な給水停止処分を行っておりますので、徐々にではありますけれども、収納率については改善している状況でございます。

【佐々木会長】

ありがとうございます。給水停止というのは昔からあったんですけど。

【佐藤類係長】

処分としては行っておりましたけれども、去年から方針を大きく変えまして毎月処分を行っている状況に切り替えました。

【佐藤部長】

はい。

【佐々木会長】

どうぞ。

【佐藤部長】

給水停止処分については、かなり昔から実施していたものでございます。ただ、その東日本大震災をきっかけに、仮設住宅あるいはまだ生活が成り立っていない方々が震災当初あったために、一定程度の結構な長い時間ではあるんですけども、その間実施してこなかったという経緯がありまして、その間で滞る人達が若干増えてきたということで、2年程前くらいから少しずつ再開し、徴収のため多くなっているというような状況でございます。

【佐々木会長】

ありがとうございます。

といった感じでどうでしょうか。よろしいでしょうか。

――― 委員から「はい」の声あり ―――

【佐々木会長】

それでは、「(1) 令和5年度大船渡市水道事業決算について」は、これで閉じさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

――― 委員から「はい」の声あり ―――

【佐々木会長】

ありがとうございます。

それでは、続いて「(2) です。令和5年度大船渡市簡易水道事業決算の報告について」ということで、説明をお願いいたします。

【船砥補佐】

それでは、令和5年度簡易水道事業決算につきましては、配布しております資料No.2にてご報告させていただきます。

――― 資料No.1 「大船渡市水道事業の概要」 1～2ページを説明 ―――

簡単ですが、説明は以上になります。

【佐々木会長】

ありがとうございました。(2) 簡易水道事業の決算についてということで、統合に伴う説明という内容ではあるんですけども、統合の時に初めて出てきた内容だと思うんですけども、今回令和5年度の決算をご説明いただきましたが、皆様のほうからどうでしょうか。

令和5年度で2億ですね。収入の方に1億3,600万で、一旦資本金に5,400万を入れてで、資本の方から、収益じゃなくて資本的収支の方に5,400万を入れたる決算ですということ

ですね。

皆さんいかがでしょうか。

――― 特に無し ―――

【佐々木会長】

よろしいですか。

――― 委員から「はい」の声あり ―――

【佐々木会長】

いずれこの6年度から統合になりまして、安定的に運営をしていくために今年度からの計画、または先ほど説明にもありましたが料金改定の方も考えながら進んでいくということになるんだと思いますので、よろしくお願いいたします。

じゃあ(2)のほうも、以上で閉じさせていただきたいと思います。

進行のほう、ご協力大変ありがとうございました。終了しましたので、議長の任を終わらせていただきたいと思います。

4 その他

【船砥補佐】

佐々木会長大変ありがとうございました。

それでは、次第の「4 その他」でございます。皆様から改めまして何かございませんでしょうか。今日の審議会に関わらないことでもよろしいのですが、何かございませんでしょうか。

――― 特に無し ―――

5 閉会

【船砥補佐】

よろしいでしょうか。

それでは、以上を持ちまして令和6年度第1回大船渡市水道事業運営審議会を閉会させていただきます。なお、第2回の運営審議会につきましては、1月下旬から2月上旬を目途に予定しており、審議内容につきましては、令和7年度の予算等につきましてご審議いただく予定としております。本日は長時間に渡るご審議をいただき誠にありがとうございました。

終了